

第4回 道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験協議会 議事要旨

1. 開催日時：令和7年6月5日（木）10：00～11：00
2. 開催場所：国土交通省 近畿地方整備局 6階
3. 出席者：国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所 事務所長 <会長>
大阪府警本部 交通部 交通規制課 計画担当管理官
大阪市 環境局 環境施策部 環境施策課 課長
大阪市 計画調整局 計画部 交通政策課 課長
大阪市 建設局 総務部 管理課 課長
国土交通省 近畿地方整備局 道路部 路政課 課長
国土交通省 近畿地方整備局 道路部 交通対策課 課長
梅田2丁目振興町会 会長
西阪神桜橋商店会 会長
福島連合振興町会 会長
東天満1・2丁目振興町会 会長
タイムズモビリティ株式会社 取締役 専務執行役員 ビジネス企画本部長
タイムズモビリティ株式会社 ビジネス企画本部 サービス企画部長

4. 議事

- (1) 社会実験内容
- (2) 効果検証の報告・評価（中間）
- (3) 今後の予定

5. 議事要旨

○社会実験内容

- ・ 社会実験が令和6年10月から開始され、万博ラッピングや鉄道事業者との連携による利用促進等の取組を共有した。

○効果検証の報告・評価（中間）

- ・ 社会実験期間中の令和6年10月～令和7年3月に実施した各種調査や利用実績等を用いた効果検証の中間報告を行った。

【主な意見】

- ・ 今回の説明にあったような鉄道とカーシェアが連携した利用は増えていくと感じているか。【会長】

→全国的にも鉄道駅周辺にカーシェアのステーションが多い傾向にはある中、鉄道利用からカーシェアに乗り換えて利用し、別の目的地で同乗者と合流して移動など、ニーズも多様化していると感じている。【実験参加者（タイムズモビリティ株式会社）】

- ・カーシェアの場所によっても使われ方がこれだけ変わるのだと感じた。地域の経済活動との関連などもあるのか。【会長】
 - 鉄道駅からの降車後の足として、ラストワンマイルの移動として活用されているようである。さらに、酷暑や大雨の際において徒歩移動が大変な場合にも、利用していただけるのではと考えている。【実験参加者（タイムズモビリティ株式会社）】
- ・ETC2.0の分析で急ブレーキが発生したりしているようだが、この理由は分析できているのか。【会長】
 - 安全性の評価について、急ブレーキの発生要因は、ステーション入出庫時に路肩に一旦停止してチェーンゲートの操作を行うことが影響している可能性があるため、今後ETC2.0のサンプルを増やしながらか検証を継続していく。【事務局】
- ・今回の社会実験の利用実績の季節的な変動は、全国的なトレンドからみてどうか。また、東京都からの利用が多いが、理由は何か考えられるのか。【大阪市計画調整局】
 - 利用回数の季節的な変動については、全国的な傾向としても1月は法人利用が減ることや2月は日数が少ないことなどから、相対的に減る傾向にあるため、今回の実験箇所も同様の傾向といえる。また、東京都の割合が高いのは、東京都は、人口・企業数が多い。さらに、法人会員は、会社の住所で登録されており、登録会員数も多いのも理由のひとつと考えられる。【実験参加者（タイムズモビリティ株式会社）】

○今後の予定

- ・社会実験は令和7年12月まで行う予定であること、令和8年2月に予定している第5回協議会では、社会実験期間全体の効果検証の報告を行うことを共有した。

以 上